



# moderato

社会福祉法人藤沢育成会

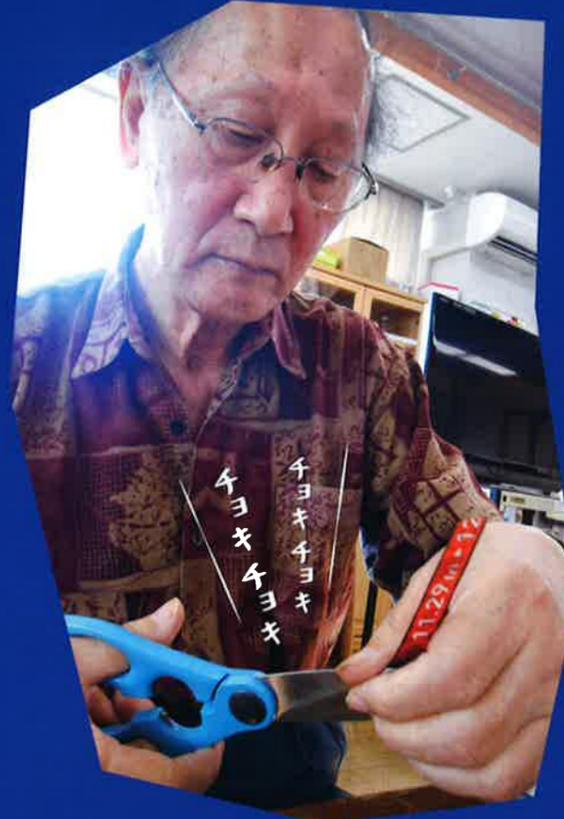
【モデラート:中くらいの速さで(音楽用語)】

## Vol.83

- 新年のごあいさつ …… P2
- 新規事業紹介:「サテライトっていったい何?」 …… P3
- いんくるオータムフェスティバル …… P4-P5
- 各事業所のお祭り紹介 …… P6
- アフタヌーンティーコンサートご報告 …… P7
- 「ますます華麗に 節子の部屋」:西條節子さんコラム … P7
- 「あっと!」表紙解説 …… P8



## 『あっと!』 日常の中で 見つけたアート



PROFILE  
五島満さん  
湘南ゆき村

「掲示板を彩る切り絵たち」



湘南ゆき村、デイセンターに続く廊下  
掲示板に目を向けると、  
そこにはいろいろな絵や文字が。  
デイセンターの五島満さんは  
気に入ったカタチをハサミで切り出します。  
チヨキチヨキと明日は  
どんな作品ができるのでしょうか  
(湘南ゆき村 支援員 館野直久)

# 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます

昨年の流行語大賞に“ワンチーム!”がある。Wカップ日本代表の言葉だ。ラグビーであれほどの盛りだに驚いたが、終始日本代表の誇りを胸にチャレンジした姿に好感を寄せた。キャプテン・マイケルは高校時代に渡来したニュージーランド出身。他にも多く外国人選手がいた。日本人が話題の中心なので目立たなかったが多国籍軍だ。サッカーから見ると違和感があるがラグビーは国籍条件が異なる。グローバル社会と言われるが日本はまだ国際的とはいえない。今年がオリンピック・パラリンピックが東京中心に開催される。スポーツの祭典は外国人観光客が増え、社会に多くの変化をもたらす。中でも気になるのは道路標識等の国際基準。自閉症等の療育技法「ティーチプログラム」では、判りやすく伝えるための“ビジュアル化”がある。言語では判りにくいことを絵カードや写真を用いるものだ。社会標識等はまさに“ビジュアル化”。それが判りやすく国際基準化することを大いに歓迎したい。それはまさに障害者権利条約でいう“合理的配慮”。障害者のためではなく、社会全体のために行われる画期的な合理的配慮がレガシーとなりますように。

「one team」になろう

いつわ会(藤沢育成会施設利用者家族連合会) 会長 安達 昭三

明けましておめでとうございます。

昨年はいろいろな変わり目になった年でした。中でも新しい天皇が即位して元号が、平成から令和へになりました。

そしてラグビーの世界大会が、この日本で開催され、あまりメジャーでなかったラグビーが、にわかに脚光を浴びたことです。そうした後押しもあってか、日本がベストエイトになったこと、それが一層その人気に拍車をかけ、日本チームが発した言葉「one team」が流行語大賞に選ばれました。ただ人によって「何!これが日本チームだって!」と違和感を唱える人もいました。

「one team」確かにいい言葉ですね。私たち家族と後援会、そして法人、これらの集まり、つまり三位一体によってチャリティーなどの事業を行うことにも通じる表現といえます。ただ、考えておかなければいけないと思いますが、肝心の『家族』という集まりが本当に「one team」となり得ているかということです。今、時代はかつてのような家族の結束がなくても、必要なことは与えられて(?) いています。同じ施設を利用する家族であっても送迎付きになり、家族同士がお互いに顔を合わせることもない時代です。

法人設立30周年は一昨年のことです。利用者も親も年を取り、いずれもこの先をどう生きるか、何処を終の棲家としていくのかも選択しているかどうかが、one team になる必要があるかどうかも含めて考えてみてはいかがでしょうか。

新たな相互支援を考える年に

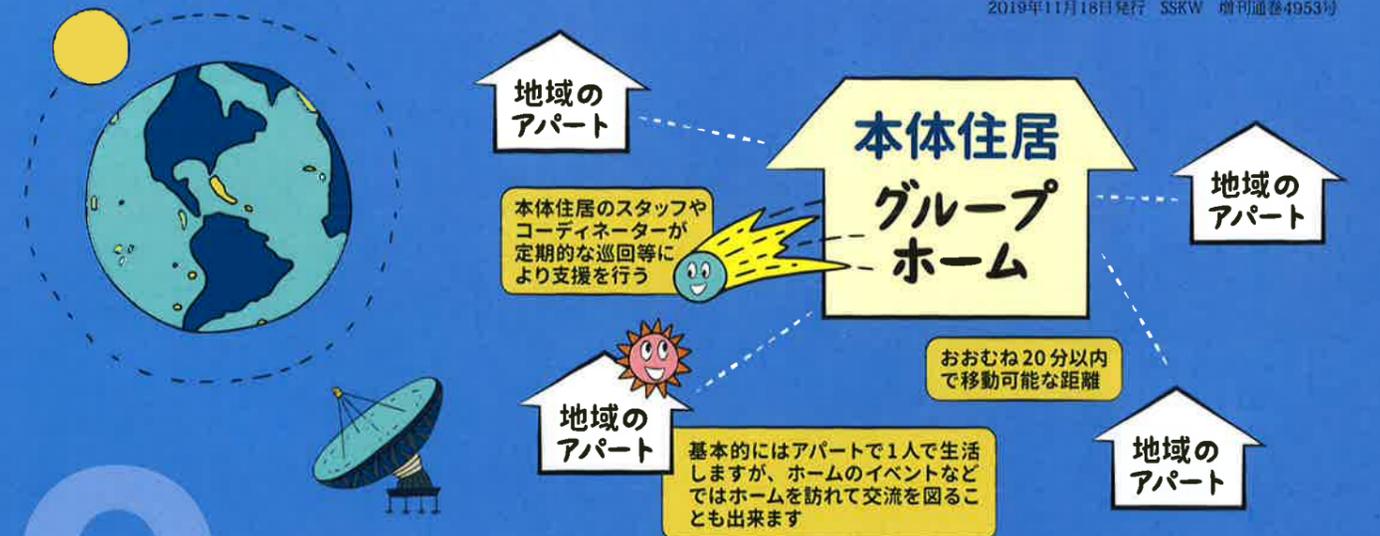
藤沢育成会後援会「いずみ」副会長 後藤 誠一

後援会「いずみ」は、会員の皆さまをはじめ多くの人のご支援とご協力をいただきながら、新しい年を迎えることが出来ました。引き続きよろしく願い申し上げます。

昨年は空前のラグビーブームに日本中が湧き、特に多くの人の心を打ったのは、チームが掲げた「ONE TEAM(ワンチーム)」でした。そこには、「one for all(一人はみんなのために)」「all for one(みんなは一人のために)」の意味が込められていると言われます。

「一人はみんなのために みんなは一人のために」は、30数年前、後援会「いずみ」の前身である当時の障がいのある子の親たちが法人藤沢育成会を立ち上げた時の力強い合言葉でした。今ではこの「みんな」であるチームも法人、家族の会、後援会の3者に分かれそれぞれの役割を担いながら、時には協力連携しながら「ONE TEAM」として三位一体の理念のもとに利用者をはじめ支援を必要とする人たちを支えてきました。ベスト8への逆転トライをした稲垣選手は、「思いやりの心がチームを強くした」と言われました。時代が変わろうともジャンルに違いがあろうともこれまで育成会が培ってきた思いやりの心は今もしっかり根付いています。特にインクルージョンの理念の下では、「支援するものも支援される」という相互支援の大切な視点が加わりました。現在は、成果や効率を優先し自助努力が強いられ、サービスの対価として人の優しさや思いやりをお金で買う時代とまで言われます。そんな中、「思いやりの心やチームの強さ」が包含している相互支援の大切さがますます注目されることになると思います。幾重にも相互の支援がバランスよく成り立つことによって、今年も個性、共生が輝く年になってほしいと願っています。

藤沢育成会理事長 石川 修



## Q サテライトっていったい何!?

グループホームでの共同生活や、自宅でご家族と生活をしている方々の中には、一人暮らしを希望する方もいます。でも…「お金の遣い方に自信が無い」「困ったときは誰に相談すればいいの?」等、いきなり一人で生活することに不安を感じることもあるでしょう。一人で暮らしたいというニーズや、地域における多様な住まいの場を増やしていく観点から、グループホームの新たな支援形態の一つとして、アパートを借り、本体ホームとの連携を図りながら、単身生活に近い形の暮らしを支援するのがサテライト事業です。

## A サテライトに移行した川路さんのインタビュー

- サテライトで一人暮らしをして半年が経ちましたが、生活には慣れましたか?**  
慣れました。最初は分からない部分も多くて慌ててしまったけど、時間が経つにつれて「こんなものか」と分かってきた。ゴミの分別とか…料理とか。
- 料理もするのですか?**  
食事は買ったものもするし、自炊もする。気に入っている料理は「焼うどん」。商品のパッケージを見たり、ネットで作り方を見たりして作っている。失敗した料理は、牛肉を炒めて、そこにご飯を投入したら、油味の料理が出来た(笑)。この前は「ハンバーグ」にもチャレンジした。自炊は週に1、2回ですけどね。
- きっかけとして、なぜグループホームを出たいと思ったのでしょうか?**  
周りの人との関わりで苦しくなってしまう、生活がしにくくなったから。
- グループホームとサテライトの一番大きな違いは何ですか?**  
グループホームの時は夜、21時を過ぎても部屋の外の話し声とかが気になって、なかなか早く寝られなかったけど、今は20時半くらいには寝て、早く起きている。朝はジョギングしたりしています。
- 一人暮らしをしてよかったことはありますか?**  
決められた食事ではなく、自分の食べたいものが食べられること。
- 逆に一人暮らしで困っていることはありますか?**  
一人になって「寂しい」と思う時もある。でも日中の作業場所(就労移行A)に行くと人と関わりと解消されますね。
- 今後、サテライトではなく、本格的に一人暮らしをするにあたって、いつ位には一人暮らしに移行したいですか?**  
この調子で言ったら2年後くらいかな。その時には移行Aから一般就労もしたいですね。
- 最後に、将来の夢はありますか?**  
いっぱいありますね。やりたいことは本当にいっぱいある。看護師や保育士になりたいという夢もある。一人で黙々とする仕事は孤独を感じてしまうので、人と関わる仕事がしたい。



みんなに会えて  
楽しい!!



あー♡(おいしい♡)



ディンカーベルの  
風船もらったよ!



お店の販売頑張ったよ!  
またやりたいな!



楽しいね!  
から揚げ  
おいしかった

ピカチュウかわいい!  
気に入った!

屋食メニューがたくさん  
あって嬉しかったです



チキンおいしいな!

お祭り行ったよ、  
ピン買った!  
楽しかったー!!!



お祭り楽しい~!



# いんくる オータム フェスティバル

ダンスが楽しかった  
似顔絵を  
たくさん描きました



腰が痛かった。  
けど、店番ができて  
楽しかった



みんなが楽しんでいる  
姿が嬉しかった

企画や運営を経験  
できて勉強になった

10月17日(土)に白浜養護学校をお借りして、法人のご利用者やご家族、地域住民が自由に参加できる、法人の文化祭「いんくるオータムフェスティバル」をで開催しました。各事業所が催し物を考え職員、ご利用者がともに出店しています。当日は、あいにくの冷たい雨にあたられましたが、会場内は暖かい笑顔につつまれたたくさんの方に会場いただきました。イベントでは事前に募集したイメージキャラクターの中から「いくちゃん」が最優秀賞に決定し大いに盛り上がりました。



## 湘南あおぞら ブルスカイフェス ～あおぞら秋祭り～

湘南あおぞらでは11月8日（金）に「ブルスカイフェス～あおぞら秋祭り～」を開催しました。ここ数年開催が難しかったのですが、利用者の方々の「やりたい！」の声に応え小さな規模ですが開催することが出来ました！！近隣のシュテルン洋菓子店の渡部会長直伝のプリン作り体験や、ゲーム・屋台コーナー等大盛り上がり！山形県出身の職員が地元のソウルフード、どんどん焼きを皆さんに振舞って下さいました。いや～美味しかった！利用者の方もどんどん焼きを自分で作って、楽しく、美味しく参加していました。ボランティアの方も参加して下さい、とても楽しい会となりました。来年、再来年と開催していきたいと思しますので、是非皆さんも遊びに来て下さい！



## 湘南だいち 第6回夏祭り

2019年7月13日（土）に「湘南だいち 第6回夏祭り」を開催しました。雨が予想される中、今年は天候を味方につけて無事お祭りを終えることが出来ました！今年のゲストにはシンガーソングライターの方やジャズバンドの方に参加を依頼し、とても素敵な歌と演奏を披露して頂きました。また、今年は新しく夏向けに用意した「冷やしパン」も好評でした。職員の出し物で行ったジャンカは、予想以上に盛り上がり、ご家族からも楽しい思い出ができた、と嬉しい感想を聞くことが出来ました。お祭りに参加して下さいみなさま、ありがとうございます！来年もよろしくお願ひします。また、協力して頂いた地域の皆様ありがとうございました。



## 湘南ゆうき村 収穫祭

令和元年11月17日（日）、湘南ゆうき村の恒例行事、収穫祭を開催しました。令和最初となる収穫祭は、天候にも恵まれた晴天の下、約250名の方が会場に足を運んでくださり、大盛況のお祭りとなりました。今年の収穫祭テーマは「YOUの〇〇はここにある！」です。「〇〇」には来場をされた方々にそれぞれの想いを挙げていただき、一枚のボードに詰め込みました。今回も西俣野上町内会・なぎさの体験学習館・藤沢清流高校・ボランティアの方々などと湘南ゆうき村スタッフとが一体となったお祭りでした。たくさんの方々から多大なるご協力・ご支援をいただき、笑顔にあふれた楽しい収穫祭となりました。本当にありがとうございました。

## 後援会いずみ報告 アフタヌーンティーコンサートを開催しました

11月7日に、法人初の企画「アフタヌーンティーコンサート」を、「社会福祉法人みその聖アンナの家」の場所をお借りして開催いたしました。いままで、大規模な会場をつかって様々なチャリティイベントを行ってききましたが、今回のような小規模（約100人）のコンサートは初めての試みです。演奏は、昭和音楽大学や東海大学講師であり、大和市音楽協会会長の奈良康佑さん。モーツァルト、ベートーベン、ショパンなど、本格的なクラシックの名曲の数々を、素晴らしい演奏で聴かせていただきました。



演奏の合間には、コーヒーとクッキーを楽しみました。クッキーは、湘南だいちで発売を開始したオリジナルオーダークッキーに、よし介工芸館の利用者が描いたピアノのイラストをプリントしてもらいました。午後のくつろぎの時間に、上質のピアノの調べとコーヒーで、普段とはちよっと違う素敵な午後を過ごしていただけたのではないのでしょうか。



### ますます華麗に 節子の部屋

藤沢育成会後援会『いずみ』会長  
西條節子

#### ～水路～

『道ははじめからあったのではない。人々が歩いて道はつくられる』と鲁迅の言葉を思い出す。水にも道があるのです。その道を人間は自由に森林

伐採、トンネル、地下鉄などなど無尽に支配するから水は怒ってしまい爆発して崩れた道を混乱状態にしていく。その果てに崖崩れや河川の氾濫が起こっているのです。育成会のひとつひとつの用地は水脈など水の邪魔にならないよう街の方々に聞きながら皆さんに支えられながら選びました。そんな頃を想いながら今があります。

## 社会福祉法人 藤沢育成会後援会いずみ 入会のご案内

後援会「いずみ」は、藤沢育成会が進める福祉事業を支援するとともに、藤沢育成会を利用する人と地域の人を結ぶ懸け橋になり、障がいのある人の地域の暮らしや社会参加の実現に向けて、誰もが自分らしく生き生きと暮らすことのできる豊かなまちづくりを目指しています。多くの皆様にご入会いただき、支援の輪を広げていきたいと考えております。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

○個人会員 年額2,000円から  
藤沢育成会の活動に賛同する  
一般の市民の方 及び 利用者家族  
○団体会員 年額10,000円から  
藤沢育成会の活動に賛同する企業・団体

振込先（郵便局）  
口座番号 00240-5-65378  
口座名義 社会福祉法人藤沢育成会後援会いずみ会長西條節子  
問合せ先 0466-28-1488  
（社会福祉法人藤沢育成会 法人事務局 担当：佐藤和美）